

令和2年度京都市職員採用ガイダンス

職種別説明会資料（一般事務職／福祉）

子ども若者はぐくみ局第二児童福祉センター
第二児童相談所職員 作成資料

1 経歴

平成25年4月 京都市入庁

平成25年4月～平成27年4月

保健福祉局長寿社会部長寿福祉課 勤務（2年間）

（現：健康長寿のまち・京都推進室介護ケア推進課）

平成27年4月～平成31年4月

区役所保健福祉センター障害保健福祉課 勤務（4年間）

★平成31年4月～現在

第二児童福祉センター第二児童相談所 勤務

2 主な職務内容

■保健福祉局長寿福祉課

・成年後見制度利用支援事業関係業務

…市長申立て関連事務，後見報酬助成業務，市民後見人養成業務 等

・認知症介護実践者研修等関係業務

…研修実施に関する事務，指導者養成研修派遣業務 等

・その他…シルバー人材センター関係業務，老人福祉センター関係業務 等

■区役所保健福祉センター障害保健福祉課

・身体障害者・知的障害者ケースワーカー業務

…障害福祉サービスの利用調整，障害者虐待対応，療育手帳発行業務，その他相談業務 等

■第二児童福祉センター第二児童相談所

・虐待世帯の継続支援…家庭訪問，面接，CC開催 等

・子どもに関する相談業務（養護相談，性格行動相談，触法相談，不登校相談 等）等

3 採用に向けて

*社会福祉士の勉強と兼ねて取り組むと効率的。

*自分は何をやりたいのかを明確にする

*「なぜ京都市なのか？なぜ福祉職なのか？」について考える。

4 行政機関の福祉職として働くということ

*福祉職である以前に事務職である

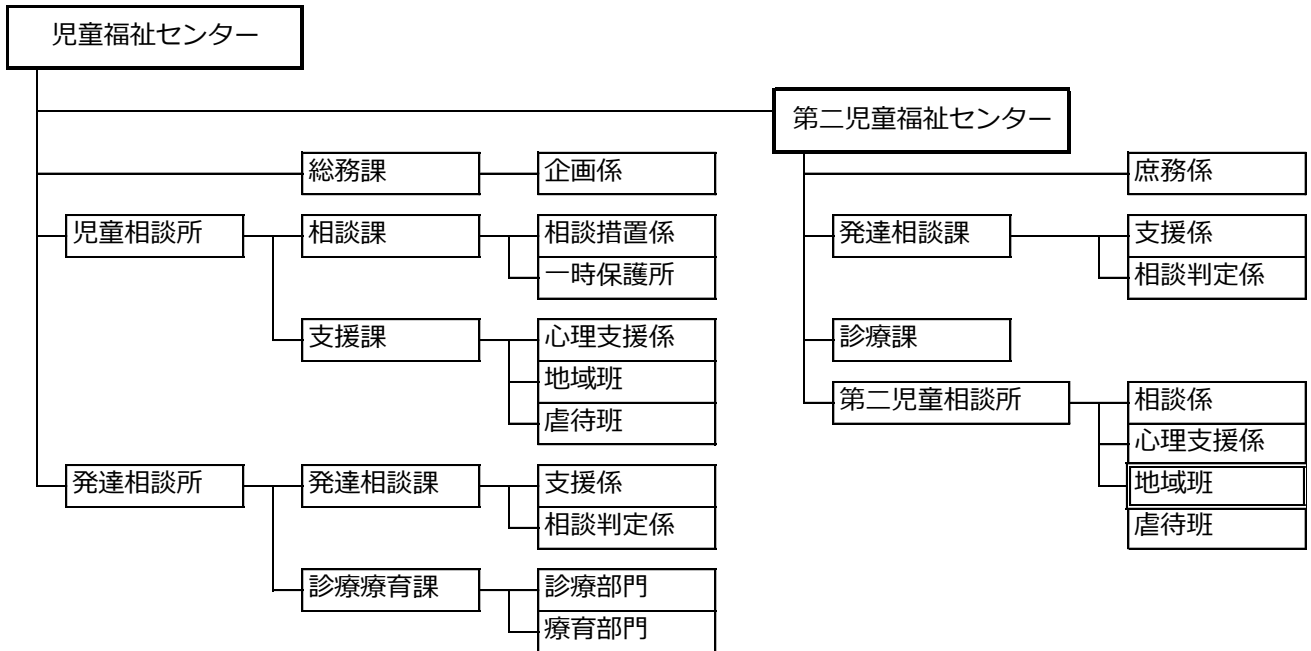
⇒対人援助だけでなく，事務能力も必要になる。

*京都市の福祉職はまだ発展途上にある

⇒京都市の福祉職は平成24年度に採用が始まり，その人数も100人に到達していないため，福祉職が今後どのような職種集団になるのか期待している。

★児童福祉センターについて

■組織図



■担当地域

児童相談所：北区，上京区，左京区，中京区，東山区，山科区，下京区，右京区，西京区（洛西支所）
 第二児童相談所：南区，伏見区（深草支所，醍醐支所）

■業務内容

	係	業務内容
児童相談所	相談課	
	相談措置係 (相談係)	・ インテーク業務 ・ 里親委託/施設入所児童の負担金関係，その他庶務
	一時保護所	・ 一時保護された子どもへのケア，行動観察
	支援課	
	心理支援係	・ 虐待による施設入所児童のケースワーク，心理的ケア ・ 子どもへの各種相談に応じた心理検査の実施，継続的ケア
	地域班	・ 虐待認定を受けた児童及びその保護者の継続支援 ・ 虐待以外の子どもに関する相談業務
	虐待班	・ 虐待ケースの初動業務
発達相談所	発達相談課	
	支援係	・ 障害児福祉サービス利用調整 ・ その他障害児に関する相談業務
	相談判定係	・ 療育手帳発行や手当の受給，福祉サービスの利用に際しての心理判定業務
	診療療育課 (診療課)	
	診療部門	・ 児童精神科，小児科等の診療業務
	療育部門	・ 発達に課題のある子ども，言葉やきこえに問題を持つ子ども及びその保護者を対象とした支援業務 (親子通園施設)

	本庁勤務	区役所勤務	専門機関勤務
	保健福祉局長寿福祉課	保健福祉センター障害保健福祉課	第二児童相談所
職員数	<ul style="list-style-type: none"> ・課全体で 30 人前後。 ・ 4 係に分かれており、自分の所属した係は係長 1 名、係員 3 名体制。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 課 1 係体制。 ・ 課長 1 名、係長 1 名、係員 6 名体制。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童相談所全体で 30 人前後。 ・ 4 係に分かれており、自分の所属している係は係長 1 名、係員 4 名体制。
職場環境 雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い職員が多いが、新卒者が配属されることは少ない。 ・ 女性職員より男性職員が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全区支所で最も人口規模の小さい地域であり、支所全体でも職員の顔がすべてわかるくらい職員数が小規模。 ・ 通勤時間等が配慮され、子育て中の女性職員や年配のベテラン職員も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療所を除いて全員が同じフロア内で働いており、全員の顔がわかる関係。 ・ 比較的若い職員が多い。 ・ 事務職、福祉職、保健師、保育士、心理士など多職種が CW として勤務している。 ・ 精神的なタフさも求められるが、その分結束力がある。
利点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な事務能力の向上。 ・ 行政機関の基礎知識やスケジュール感が身につく（市会、予算の関係など）。 ・ 対人援助を感じられる担当業務もあり、やりがいを感じられる。 ・ 突発的な事象が起こることはあまりなく、自分でスケジュールを立てて業務を進められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ CW 業務に携わることにより、福祉職としてのやりがいを実感できる。 ・ 突発的な事象も起こりうるが、基本的には自分の立てたスケジュールのなかで業務を進められることが多い。 ・ その人を生涯にわたって支援できる。 ・ 個人ではなく、組織として判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ CW 業務に携わることにより、福祉職としてのやりがいを実感できる。 ・ 担当地域・ケースは違っても、同じ仕事をしている職員が多数いるため。相談・フォローのしやすい環境が整っている。 ・ センター内に専門職（心理士、医師など）が多く、専門的な知識や見解を吸収できる。 ・ 個人ではなく、組織として判断する。
欠点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務量が多く、業務時間中に処理しきることができないこともある。 ・ 同じ係であっても担当ごとに業務が分かれているため、相談相手は係長になることが多い。 ・ 市民と接することのできる仕事が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口業務もあることから、スケジュールを立てるときには課全体の動きを加味する必要がある（課が空っぽにならないように配慮が必要）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児相に対する社会的な風当りの強さがある。 ・ 子どもたちの人生を預かることへの責任があるため、その分重圧もかかる。 ・ 保護者や子どもからの強い訴えや要望にも柔軟に対応する必要がある。 ・ 突発的な事象に対応しなければならないことが多い。 ・ ケース対応に追われ、事務作業に時間が割けないこともある。